

産業社会と企業 ⑥ 古代オリエントから古代ギリシアへ

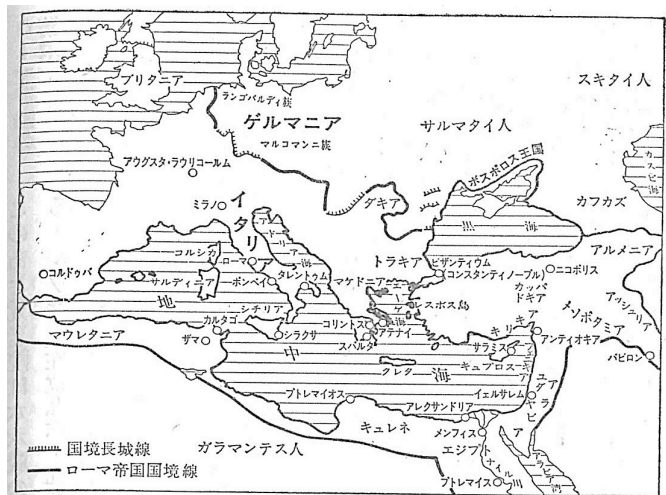
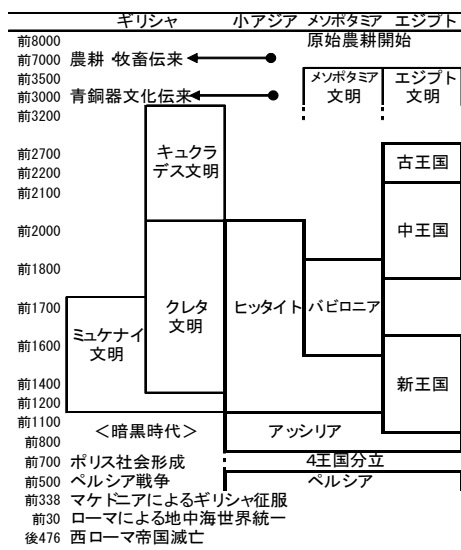
【テーマ】

- ①市場経済への発展はどのような流れだったのか？
- ②古代地中海世界における経済の特徴を学ぶ

【1】時代区分の方法—マルクスの世界史

マルクス『経済学批判』序言（1859）

①「大まかにいえば、アジア的、古典古代的、封建的および近代市民的な生産様式が、社会構成のなかに累積してきた時代としてあげることができる。」



右図：弓削達『地中海世界』講談社現代新書、1973年

## 【2】古代オリエント：貢納制経済

### (1) 灌漑と文明

### (2) 貢納制経済の発展

- ①灌漑にともなう共同体間作業の増加
- ②共同体間の介入・貢納関係
- ③王権・帝権の確立
- ④直轄支配への発展

### (3) まとめ

古代文明：

何れもある共同体が他の共同体を支配し、支配共同体の内部で強力な、神格化された指導者が出現

## 【3】古代ギリシア：奴隷制経済

### 1. オリエントからギリシアへ

### 2. 古代ギリシアの独自性

### 3. ポリスの形成

②「世の多くの人々が平和と呼んでいるものは、たんに名目だけのものであって、事実はむしろ、すべての国はすべての国を相手に、いつも宣戦布告のない戦いに巻き込まれているのが、自然本来の姿なのです」(プラトン『法律』)

#### 4. 奴隷制

##### (1) 奴隷の比率

(Beloch による推計)

地域	自由民 ①	奴隷 ②	②/①
アルゴリス	165,000	175,000	1.06
アッティカ	135,000	100,000	0.74
メガリス	20,000	20,000	1.00
ペオチア	100,000	50,000	0.50
エウベア	40,000	20,000	0.50
キュクラデス	80,000	50,000	0.63
コルキュレラ	30,000	40,000	1.33

##### (3) 奴隷による生産活動

③「まず何よりも、一戸を構え女を一人と耕耘用の牛一頭を備えよ

女といっても嫁にもらうのではない、必要あらば牛を追うこともできる奴隷を買うのだ

……この牛に付けてやるのは、40才の頑強な男

この男に8人前のパンを四つ割にして食事に与え牛を追わせるがよい

……畑を耕し種子を蒔く時期が、人間に示されたならば／すぐさま仕事にかかれ一僕ばかりではない、お前自身も同じようにだ」(ヘーシオドス『仕事と日』)

##### (2) 奴隷の供給源

#### 【4】おわりに

貢納：征服した共同体を共同体として支配することで発生

奴隷：征服した共同体の成員を個々に支配することで発生

\*アテネの歳出 (前 420 年)  
 軍事費 (陸海) 300 タレント  
 文官給料 250 タレント  
 祭儀・公共事業その他 150 タレント

\*ローマ共和政の歳入 (前 200-157)  
 総歳入 { 国内 (25%)  
           海外 (75%) { 戦利品・賠償金 (40%)  
                           属州からの税・鉱山収入 (33%)

※関連文献

- ①マルクス 『『経済学批判』の序言・序説』 新日本出版社
- ②岩田靖夫 『ヨーロッパ思想入門』 岩波ジュニア新書（2003）
  - ・②はギリシア思想とヘブライの信仰（聖書）さえ分かれば、ヨーロッパ思想の本質は理解できる、という観点からの入門書。古代地中海世界の意義は経済に限らないのである。
- ③かこさとし 『ピラミッド—その歴史と科学』 偕成社（1990）
  - ・ピラミッドを題材にして、古代エジプトの歴史・政治・技術などを説明した絵本。著者は『とちちゃんはどこ』で有名
- ④内田杉彦 『古代エジプト入門』 岩波ジュニア新書（2007）
- ⑤中田一郎 『メソポタミア文明入門』 岩波ジュニア新書（2007）
  - ・いずれも手堅い入門書
- ⑥増田義郎・吉村作治 『インカとエジプト』 岩波新書（2002）
  - ・インカ文明と古代エジプト文明を比較した対談本。非常に読みやすい。
- ⑦弓削達 『地中海世界』 講談社現代新書（1983）
- ⑧伊藤貞夫 『古代ギリシアの歴史』 講談社学術文庫（2004）
- ⑨太田秀通 『生活の世界歴史〈3〉ポリスの市民生活』 河出文庫（1991）
  - ・いずれも著名な古代史家による概説書。当時の生活ぶりを具体的に知りたい人は⑨。
- ⑩ヘーシオドス 『仕事と日』 岩波文庫